

農家のかっこいい姿を
次世代を担う子どもたちに見せていき、
子どもたちが憧れる存在になりたいです。



農業に懸ける情熱



1 就農したきっかけ

高校を卒業後、農業機械メーカーに10年間勤め、農機具修理の技術コンテストでは全国3位に輝いたこともありました。しかし、会社に勤めて決まった給料で働くよりも、自分の努力がそのまま結果につながる農業に魅力を感じ、就農しました。



2 これから挑戦してみたいこと

夢は酒蔵を造ることです。2年程前から、日本酒のおいしさに引き込まれ、全国から銘酒を取り寄せ飲んでいきます。自分で米を育てて、その米で日本酒を造り販売し、農業から岩見沢の活性化につなげていきたいと考えています。農業をしていると限りなくいろいろなことにチャレンジができると感じており、チャレンジ精神を忘れずに一つずつ叶えていきたいです。

3 仕事をするうえで気を付けていること

同じ失敗を繰り返さないように気を付けています。実は就農1年目のときにわからないことばかりで、肥料をまかなくても作物は土の力で育つと思っていたため、そのままキャベツを定植したことがあります。定植後、肥料が必要であることを聞き、肥料を撒きました。生育はバラバラで収量も平均的な収量の3分の1しか収穫できず、後悔した年となりました。

それから、わからないことがあれば父や周囲に相談するようにしています。地域の先輩方やJA職員に営農指導などのサポートをしてもらい、今では天候に左右されない限り、平均以上の収量を確保することができています。これからも周囲の方から教えてもらった知識や技術に加え、自分なりに考えたことを実践していきたいです。耕作面積もまだまだ広げたいと考えているので、少人数で大区画を運営できるように、効率化に向けた工夫改善に取り組んでいきます。

4 目指す農家像

農業のかっこいい姿を見せていき、子どもたちのなりたい職業で農業がナンバーワンになるような、憧れる農家を目指しています。そのためには、先代から受け継いだものを自分が試行錯誤を重ねてレベルを上げていき、次世代につなぐことが必要だと思っています。これからも農業の活性化に向けて、家族や地域を守り続けていきたいと思っています。



お気に入りの愛車

人物 memo

岩見沢市北村砂浜
松浦 翔太 さん(37歳)

父の孝さんと母の晴美さんの3人と、(有)砂浜ファーム合わせて約76畝の農地に水稲や小麦、大豆、キャベツを栽培。幼い頃は家の手伝いが好きではありましたが、農業機械に触れることで徐々に農業に興味を湧き、農家を継ぐことへの想いが強くなりました。